

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成31年3月10日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4678300106
法人名	社会福祉法人 愛心会
事業所名	グループホーム やくしま
所在地	鹿児島県熊毛郡屋久島町原914番地23 (電話) 0997-47-2010
自己評価作成日	平成31年2月13日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成31年3月2日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ご利用者様一人ひとりのペースに合わせた支援を行っています。また、地域密着型の施設という事もあり、地域の方々との関わりや交流会、行事への参加等を通し、外部との関わりが継続できるよう支援しております。最近では、特にレクリエーション等も増えてきており、利用者様が少しの時間でも楽しめるよう支援しております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は自然にも恵まれた住宅地域に立地している。ウッドデッキを中心に左右対称の2ユニットの仕様で、自由に行き来し交流している。レクリエーションなども合同で行い、災害時の協力体制もできている。
- ・協力医療機関による定期的な往診と、職員看護師による健康管理や24時間医療連携体制が整っており、緊急時の対応などに適切な医療を受けられるよう支援している。
- ・各居室にトイレと洗面台が設置してあり、利用者のプライバシーに配慮しながら対応している。
- ・管理者と職員は利用者の個々の力量を活かし、張り合いや喜びに繋げるように、健康器具も設置し室内レクリエーションの充実を図っている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎朝の申し送り時に、管理者職員は理念ならびに職員行動指針の唱和を行い、理念の共有を図り、実践につなげている。	地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念で、事業所内やパンフレットに掲示している。申し送り時に唱和し振り返り、会議等で確認し、理念を共有して実践に繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域ボランティアの受入れや、幼稚園・小学校との交流など、地域との交流に取り組んでいる。	地区の敬老会に参加したり、幼稚園児や小学生との交流、中学生の職場体験やボランティアの受け入れも行っている。家族から介護についての相談があったり、野菜の差し入れなど、日常的に交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	運営推進会議等や職員の講習会などを通じて、認知症の方の理解や支援方法を地域の人々に向けて生かすよう、更に努めてゆく。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2ヶ月に1回開催しており、区長・民生委員・行政・家族等から地域の情報を頂いたり、アドバイスを頂き、会議での意見をサービスの向上に活かしている。</p>	<p>当会議は定期的に行っている。事業所の状況やヒヤリハット、外部評価の報告などを行い、参加者からも多くの助言や提案がある。徘徊マニュアルを基に連絡網を作成し、徘徊の個別支援や記録に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>市町村担当者に対して、日頃から、報告・連絡・相談を行い、協力関係を築くように努めている。</p>	<p>町の担当者とは、窓口に出向いたり、電話で実情や取り組みを伝え連携を深めている。介護相談員の受け入れもしている。運営推進会議を通して協力関係もできている。市福祉課の担当者とも密に連絡し合っている。町主催の研修会にも積極的に参加している。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>玄関の施錠、行動制限等、身体拘束をしないケアに取り組んでいます。</p>	<p>マニュアルに沿って3ヶ月毎に研修会を実施している。対象となる事例検討などで職員の共通認識を図り、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。言葉による拘束など日々確認している。昼間、玄関は施錠していない。危険防止にやむを得ず一時的に施錠することもある。外出しそうな様子を察知したら、職員間の連携で安全な暮らしを支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員の勉強会や、職員同士注意を払い、虐待防止に関しては、十二分に徹底しております。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	個々の職員は勉強しておりますが、現状では不十分である。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時に、契約に関する十分な説明を行い、理解・納得を図っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	話しやすい雰囲気づくりを行い、ご家族様からの意見・その他助言等を運営に反映させている。	利用者からは日常の生活の中で意見や要望を聞き、介護相談員の助言も参考にしている。家族には面会、電話、運営推進会議等が意見を聞く良い機会となっている。毎月、便りで現状報告をしている。出された意見や提案等を職員で話し合い運営に反映させている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>職員会議や、意見交換が述べやすい雰囲気作りを実践し、また、日々の業務の中でも改善点や意見があればその都度話し、改善に取り組んでいる。</p>	<p>管理者は職員とのコミュニケーションを図り、ミーティングや職員会議等で職員の意見や提案を聞く機会を設けている。職員の提案で、ケアについての検討や健康器具を購入し室内レクリエーションを充実させるなど、運営に反映させている。相談事は個別に聞き適切にアドバイスをしている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>勤務状況や、給与水準、労働時間、やりがいなど、職員が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めております。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>島内外での研修への参加、業務を行いながらの人材育成に取り組んでいる。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>他の事業所訪問等を通じて、同業者との交流を行い、お互いのサービスの質向上に取り組んでおります。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居者との会話に努め、話しやすい雰囲気づくりを心がけ、信頼関係構築に取り組んでいる。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族より相談しやすいように、近況の報告を行ったり、お話をさせて頂き、不安、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに取り組んでいる。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居者の現状を判断し、必要があれば、他の施設等への紹介をさせて頂いている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者の想いや、不安、喜びを共に分かち合い、意思を尊重し、協働しながら生活が送れるように、場面づくりや、言葉かけを行っております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	現状の報告を通じて、ご本人と共に支えあう関係の構築に努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	各出身地域で行われる行事への参加・見学を行ったり、ドライブなどを通し馴染みの人や場との関係継続に努めている。	親戚や知人の訪問など面会者も多く、一緒にお茶を飲んだりしている。自宅や周辺へのドライブ、馴染みの店での買い物、墓参、利用者出身地の行事に参加するなど、継続的關係が途切れないよう支援している。家族の協力で外出や外食、墓参、理美容院利用などに出かけている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	日々の生活の中で、レクリエーション、外出、会話を通じて、利用者同士の関係をより良いものにしてゆくための支援に努めております。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	他の施設に入居された方のもとへ、面会に伺ったり、ご家族より連絡があった場合には、相談等にも応じて、フォローさせて頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常会話を通じて、入居者一人ひとりの思いや暮らし方、意向を把握し、入居者本位に生活して頂けるよう努めている。	入浴や夜勤時など日々の関わりの中で個々人とのコミュニケーションを図り、言葉や表情などから思いや意向の把握に努めている。困難な場合は、介護相談員の助言や利用者の思いを家族とも相談し、利用者の視点に立って職員で話し合い、本人本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの生活のパターンやリズムを理解し、行動・動作・表情からの把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、職員間、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人及び家族の意向を確認し、主治医からの助言などを担当者会議で話し合い、個々に応じた介護計画を作成している。モニタリングは3ヶ月毎に行い、必要時には見直している。状況が変化した時は現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>入居者の1日の過ごされ方、実施したサービスを個別記録に記入し、職員間での情報や連絡ノートで確認し、介護計画の見直しに活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>入居者、ご家族の要望に応じ、柔軟な支援やサービスに取り組んでいる。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域との関わりを支援し、入居者が心身の力を発揮できるようまた、安全で豊かな暮らしを楽しんで頂けるよう支援している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>ご本人、ご家族の希望を大切に、適切な医療を受けられるよう、支援している。</p>	<p>本人や家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。協力医療機関からの月1回の往診と職員看護師の健康管理や24時間医療連携体制による適切な医療を受けられるよう支援している。歯科や皮膚科受診は看護師が対応している。受診結果は家族と共有している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	介護職員は、情報や気づき、変化を常に把握し、訪問看護師等に伝え、入居者が適切な受診や、看護を受けられるよう、日常の健康管理の支援を行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	かかりつけの医師をはじめ、屋久島徳洲会病院や尾之間診療所との情報交換や、相談に努めております。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に、重度化や終末期を迎えた際には、医療機関にての対応になることを十分に説明し、同意を得ております。	契約時に重度化や終末期に伴う対応の指針を説明し同意を得ている。重要事項説明書にも明記している。特別養護老人ホームの説明もしている。状況変化に伴い本人や家族と話し合い、共有できるよう取り組んでいる。意向で看取りもするが、これまでに事例はない。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時に対するの応急手当や対応の訓練は、研修を受講し実施しているが、定期的に取り組んでゆきます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>定期的な避難訓練を通じて、消防署はもちろん、近隣住民との協力体制を築いております。また、非常食・水などの備蓄品を常時準備し、非常時に対応ができるよう努めています。</p>	<p>消防署立会いのもと年1回、自主で年1回、昼夜想定避難訓練を実施している。防災設備は定期的に点検している。スプリンクラーや緊急通報装置を設置している。近隣住民との協力体制もできている。年1回は運営推進会議メンバーも参加している。災害時の水や米・乾麺・缶詰・レトルト食品などの備蓄もある。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者の人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	マニュアルに沿って勉強会を行い、誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけをしないケアに取り組んでいる。入浴やトイレ誘導などでは羞恥心に対する配慮を行っている。名前は「さん」付けするなど、個々に対応している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者との会話の中で、思いや希望を表現、自己決定できるように支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日をどのように過ごしたいか？一人ひとりのペースを大切に、希望に添って支援しております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	洋服など、ご自分で選んで頂き、その人らしい身だしなみや、おしゃれができるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一緒に採ってきた山菜など一緒に下ごしらえをしたり、好みの味付けや調理方法も聞きながら、楽しく食事できるように努めている。片付けも出来る限り手伝って頂いている。	嗜好に配慮し、山菜や旬の食材で、個々に応じた食事形態を工夫している。片付けや皿洗いなどを職員と一緒にいたりしている。誕生日はケーキでお祝い、季節の行事食、弁当持参での遠足など食事が楽しみなものになるよう工夫している。口腔ケアも大切にしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりのその日の体調や希望により、量などの調整を行い、水分・食事摂取量の確保を行い、習慣に応じた支援を行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアを、言葉かけ、状態に応じて介助にて行っている。また、義歯の方は口腔ケア後に洗浄剤を使用し、清潔を保っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	時間を見ながらトイレの声掛けを行い、排泄の自立支援に努めている。また、時間や量の確認の為、チャック表を活用しながら支援している。	排泄パターンや習慣を活かして、必要に応じての声かけを行い、トイレでの排泄や排泄の自立を支援している。各居室にトイレが整備されている。日中はトイレ介助を行い、夜間帯はオムツやポータブルトイレを使用し、パット交換など個別に排泄援助を支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	軽度の運動や散歩を実施し、水分補給や食物繊維の多い野菜中心の料理にて対応している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入居者様の好む入浴剤を使用したり、シャワー浴の方には足浴の支援を行い、少しでも「気持ち良かった」と思ってもらえるよう支援に努めている。	基本的には週2回、午前・午後に希望を聞き入浴支援している。シャワー浴など、体調や希望にそって柔軟に対応している。必要時には同性介助で対応している。脱衣所の温度管理にも配慮し、入浴剤も使用するなど、入浴を楽しめるように支援している。入浴を拒む場合は時間調整や声かけなど、職員間で連携して入浴支援を行っている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの生活のリズムに感じ、休息したり、安心して良く眠れるように支援している。また、夜間不眠傾向がある場合には、話に傾聴し安心して休んでもらえるよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	看護師と連携を取り、職員全員が薬に服用目的や、副作用・量について理解していくよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの残存能力を見極め、役割・楽しみ事を職員と一緒に楽しんでいる。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	天気を見ながら季節の植物の見学・山菜取り・出身地域へのドライブを行ったり、ホーム周辺の散歩を実施している。	日常的には周辺を散歩したり、外気浴を楽しんでいる。計画を立てて、花見や自宅への送迎、出身地域へのドライブ、買い物などに出かけている。車椅子対応車を利用している。家族の協力で外泊や外出、外食、墓参などの際にも支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族の理解の下、ご自分で所持され、希望に応じ、買い物の際に使えるように支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	ご家族の希望により、居室に電話を引かれたり、携帯電話を所持されたり、ご本人自らが電話や手紙のやり取りができる支援を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	明るく広いリビングでTV視聴されたり、ゲームをされたり、お茶や食事をゆっくり召し上がられたり、季節感を感じて頂けるよう、季節に応じた掲示物を作成し、居心地のよい空間づくりに努めている。	共用の空間は広々として、畳スペースもある。採光や換気、温度、湿度に配慮し清潔である。壁には外出時や行事の写真が貼布してある。季節感を大事にした花や飾りつけがある。ベンチやソファで居心地よく過ごせるような工夫をしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ベンチやソファを配置し、共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れたものや、好みのものを持ち込んで頂き、居心地よく過ごせるような居室になるよう、ご家族とも相談しながら工夫している。	居室にベッド、エアコン、トイレ、洗面台、タンスが設置されている。テレビや三段ボックス、椅子、小物入れ、写真など使い慣れた物や家族の思いが伝わるものが持ち込まれ、安心して過ごせるよう配慮してある。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレや洗面所等、入居者様一人ひとりの能力に応じ、手すりを設置するなど、入居者様が自立した生活が送れるよう工夫し支援している。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない